



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年10月26日

上場会社名 旭精機工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6111 URL <http://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山口 央
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 神谷 真二 TEL 0561-52-5300
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,182	5.4	201	△8.4	239	△7.9	155	△9.3
29年3月期第2四半期	5,865	9.3	219	112.1	259	88.0	171	86.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	54.60	—
29年3月期第2四半期	60.20	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	20,154	13,910	69.0
29年3月期	19,867	13,607	68.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 13,910百万円 29年3月期 13,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	6.00	6.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は6円となり、1株当たり年間配当金は6円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,400	1.5	300	△25.2	360	△24.1	230	△21.2	80.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	3,088,739株	29年3月期	3,088,739株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	244,925株	29年3月期	244,827株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	2,843,848株	29年3月期2Q	2,844,225株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月28日開催の第68回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりとなります。

- 1. 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 6円00銭(注1)
- 2. 平成30年3月期の業績予想
1株当たり当期純利益 通期 8円09銭

(注1) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注2) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は6円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(第2四半期累計期間)	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善が続き、緩やかな回復基調を示したものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社におきましては、積極的な営業活動を展開するとともに、一層の生産性の向上やコスト削減の徹底等に注力してまいりました結果、売上高は61億8千2百万円と前年同期比5.4%増加したものの、利益面につきましては、平成28年12月に神戸工場を開設したことに伴う固定費の増加等から営業利益は2億1百万円と前年同期比8.4%の減少、経常利益は2億3千9百万円と前年同期比7.9%の減少、四半期純利益は1億5千5百万円と前年同期比9.3%の減少となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

[精密加工事業部]

精密加工事業部における当第2四半期累計期間の売上高は、32億7千2百万円と前年同期比0.1%の減少となり、その内容は以下のとおりです。

「精密金属加工品」は、カーエアコン用部品等の自動車関連部品を中心に増加したことから、20億4千8百万円と前年同期比11.5%の増加となりました。「小口径銃弾」は、12億2千4百万円と前年同期比15.0%の減少となりました。

[機械事業部]

機械事業部における当第2四半期累計期間の売上高は、29億1千万円と前年同期比12.4%の増加となり、その主な内容は以下のとおりです。

「プレス機械」は、主にリチウムイオン電池缶製造用プレスの中国向け輸出が増加したことから、11億9千4百万円と前年同期比62.6%の増加となりました。「自動機・専用機」は、自動車関連向けが減少したことから、9億1千7百万円と前年同期比0.5%の減少となりました。「ばね機械」は、政府のものづくり補助金が売上増に寄与したことなどにより、3億8千7百万円と前年同期比18.1%の増加となりました。「航空機部品」は、旅客機用部品が減少したことから、3億7千5百万円と前年同期比32.7%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、前期末より2億8千7百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が4億9千6百万円減少したものの、たな卸資産が7億4千5百万円増加したことによるものです。負債につきましては、1千5百万円の減少となりました。これは主に、固定負債のその他が1億5千5百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が1億5千7百万円減少したことによるものです。純資産につきましては、3億3百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が3億2千万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は39億3千5百万円となり、前期末より2億6千6百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりとなっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は2億6千万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加により7億4千5百万円減少したものの、売上債権で4億9千6百万円の減少及び減価償却費で3億5千1百万円、税引前四半期純利益で2億3千9百万円それぞれ計上したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は3億5千万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得で4億3千4百万円支出したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は1億7千6百万円となりました。これは主に、配当金で1億6千9百万円支出したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年4月27日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,702,379	4,435,536
受取手形及び売掛金	3,927,845	3,431,491
製品	122,253	361,884
仕掛品	1,863,145	2,366,291
原材料及び貯蔵品	520,833	523,831
その他	168,528	157,290
貸倒引当金	△7,700	△6,000
流動資産合計	11,297,285	11,270,327
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,947,986	1,922,842
機械及び装置(純額)	1,722,632	1,584,716
その他(純額)	1,217,767	1,339,351
有形固定資産合計	4,888,386	4,846,910
無形固定資産	99,311	113,388
投資その他の資産		
投資有価証券	3,441,076	3,891,696
その他	141,898	33,253
貸倒引当金	△884	△591
投資その他の資産合計	3,582,090	3,924,358
固定資産合計	8,569,788	8,884,656
資産合計	19,867,074	20,154,984

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,939,891	2,782,572
短期借入金	900,000	900,000
未払法人税等	188,801	110,256
賞与引当金	239,239	222,485
役員賞与引当金	20,772	-
その他	644,081	735,602
流動負債合計	4,932,786	4,750,918
固定負債		
退職給付引当金	722,682	733,931
その他	604,531	759,936
固定負債合計	1,327,213	1,493,868
負債合計	6,260,000	6,244,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	4,459,830	4,444,473
自己株式	△344,600	△344,847
株主資本合計	11,758,849	11,743,246
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,848,225	2,169,019
繰延ヘッジ損益	-	△2,068
評価・換算差額等合計	1,848,225	2,166,951
純資産合計	13,607,074	13,910,197
負債純資産合計	19,867,074	20,154,984

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	5,865,643	6,182,888
売上原価	4,943,142	5,257,879
売上総利益	922,500	925,008
販売費及び一般管理費	702,642	723,665
営業利益	219,857	201,342
営業外収益		
受取利息	426	424
受取配当金	24,666	25,422
固定資産賃貸料	19,951	21,732
その他	8,675	4,371
営業外収益合計	53,720	51,950
営業外費用		
支払利息	2,438	2,391
固定資産賃貸費用	10,050	11,398
その他	1,295	295
営業外費用合計	13,784	14,085
経常利益	259,793	239,207
税引前四半期純利益	259,793	239,207
法人税等	88,570	83,930
四半期純利益	171,223	155,277

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	259,793	239,207
減価償却費	357,335	351,161
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,393	△1,993
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,256	△16,753
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△20,562	11,249
受取利息及び受取配当金	△25,093	△25,846
支払利息	2,438	2,391
売上債権の増減額(△は増加)	95,489	496,353
たな卸資産の増減額(△は増加)	△638,325	△745,775
仕入債務の増減額(△は減少)	185,931	△18,554
その他	146,984	93,910
小計	366,855	385,353
利息及び配当金の受取額	25,093	25,966
利息の支払額	△2,438	△2,378
法人税等の支払額	△78,895	△148,903
営業活動によるキャッシュ・フロー	310,615	260,037
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	△769,911	△434,726
無形固定資産の取得による支出	△19,108	△12,584
投資有価証券の取得による支出	△3,187	△3,403
その他	15,706	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△776,501	△350,739
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△253	△246
配当金の支払額	△170,673	△169,960
その他	△5,187	△6,061
財務活動によるキャッシュ・フロー	△176,113	△176,268
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	128
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△642,026	△266,843
現金及び現金同等物の期首残高	4,712,485	4,202,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,070,458	3,935,536

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。